



CO₂排出抑制

グリーン・エコプロジェクトは
東京都トラック協会の推進事業です。

■ 協力・協賛 ■

国土交通省関東運輸局
東京都環境局
交通エコロジー・モビリティ財団
社団法人 全日本トラック協会

■ お問い合わせ ■

社団法人 東京都トラック協会
グリーンエコプロジェクト事務局
[株式会社アスア 物流コンサルティング事業部(業務受託)]
フリーコール 0800-1234-007
〒160-0004 東京都新宿区四谷3丁目1番8号
TEL.03-3359-6670 FAX.03-3359-6674
ホームページ <http://www.totokyo.or.jp/>

未来のために私たちができること

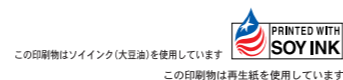


CO₂ 排出抑制

環境CSRから進める経営改善

グリーン・エコプロジェクト

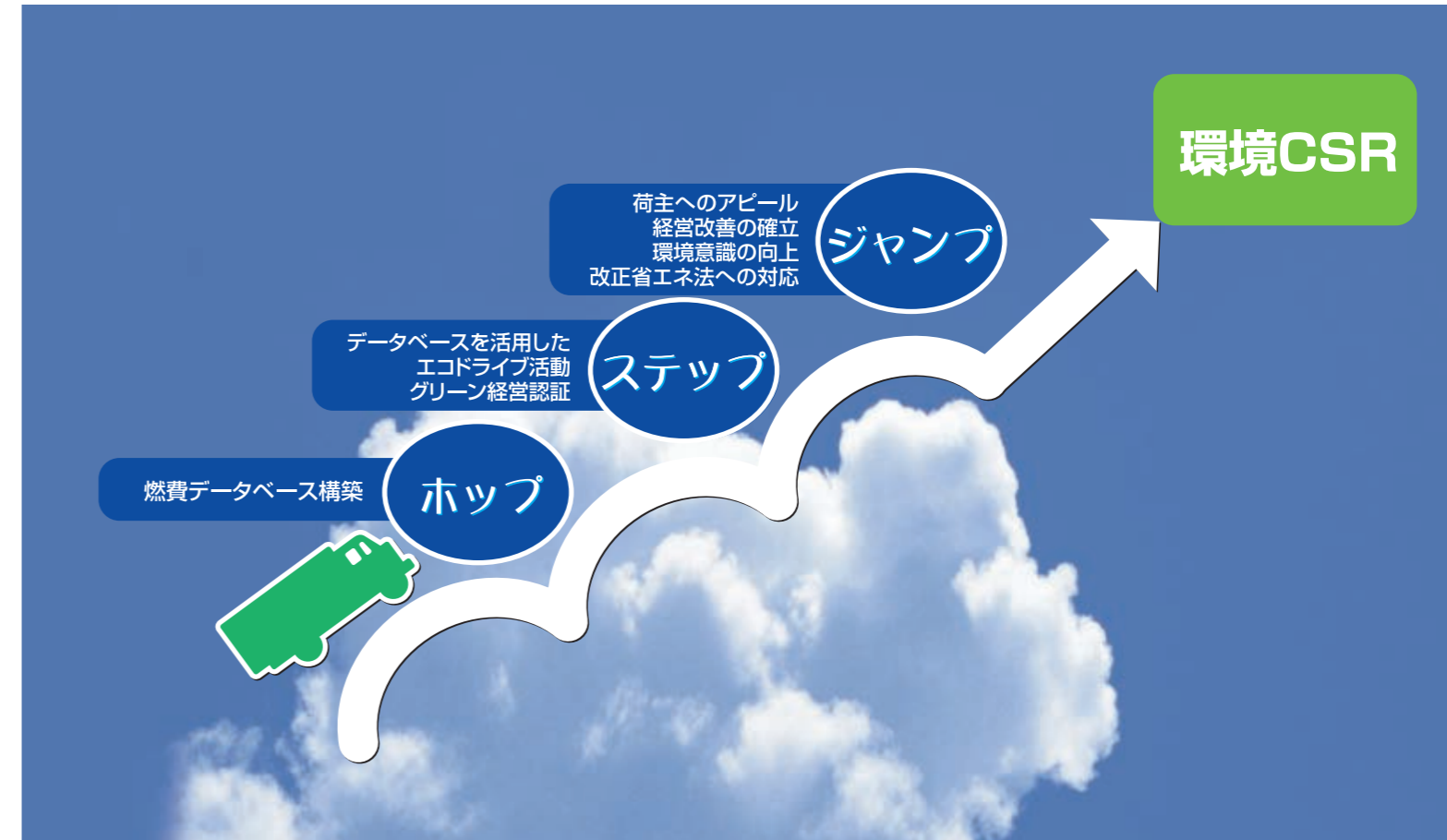
社団法人 東京都トラック協会



もくじ

- はじめに 01
- グリーン・エコプロジェクトの意義 02
 - トラック業界を取り巻く環境
 - グリーン・エコプロジェクトでの取り組み
- グリーン・エコプロジェクトの実施 04
 - 簡単スタート!
 - 無理なく実行!
 - 継続的サポート!
- エコドライブ活動の効果 06
- 平成18年度実績 08
- グリーン・エコプロジェクトの感想 10
 - 参加者の声
 - 現場の声
- Q&A 12
- 活動紹介 13

経営改善につながるグリーン・エコプロジェクト (GEP)



■はじめに

トラック業界では、平成15年よりディーゼル車規制が始まり、都の環境確保条例や国の自動車NOx・PM法などの厳しい環境規制に対応してまいりました。加えて、平成17年の京都議定書の発効を受け、平成18年4月には改正省エネ法が施行となり、多くの運送事業者にCO₂排出量の報告が求められることになるなど、会員事業者は一段に環境対応を実行することの重要性が増してきています。社会との共生という視点からみても、トラック業界のCO₂排出量削減は、他の手本となるべきと思います。しかしながら、その排出量削減の算出の基礎となる燃費データベースが整備されていないことが重要な問題の一つとなっています。

そこで、東京都トラック協会では、全国に先駆けて『グリーン・エコプロジェクト(GEP)』を立ち上げました。『グリーン・エコプロジェクト(GEP)』では燃費データベースの構築を柱に、会員事業者へエコドライブ活動を推進し、燃費向上／交通事故低減／グリーン経営認証取得／改正省エネ法対応など、環境対策に必要な事業をサポートします。

このプロジェクトは、「法規制にどう対応するか?」という受動的姿勢ではなく、トラック業界が未来のために今なすべきこと、できることに積極的に取り組んでいく能動的姿勢が重要であると考えます。

東京都トラック協会は、全国に先駆けて環境CSRから進める経営改善の実践を目指し、『グリーン・エコプロジェクト(GEP)』を推進していきます。

グリーン・エコプロジェクトの意義

トラック業界を取り巻く環境

かけがいのない地球環境を守るために、環境問題に真剣に取り組む事が重要です。

環境問題



私たちの住む地球は地球温暖化やオゾン層の破壊など、深刻な環境問題に直面しています。その環境問題は日本に限らず、すべての人間の安全保障を脅かす緊急の課題であり、今後すべての業界において優先的に取組まなければならない課題になってきています。そして日本は国際的な枠組みの中で京都議定書を批准しており、2008年より2012年までに1990年に比べ、-6%の温室効果ガスの排出削減が必要とされています。

法規制



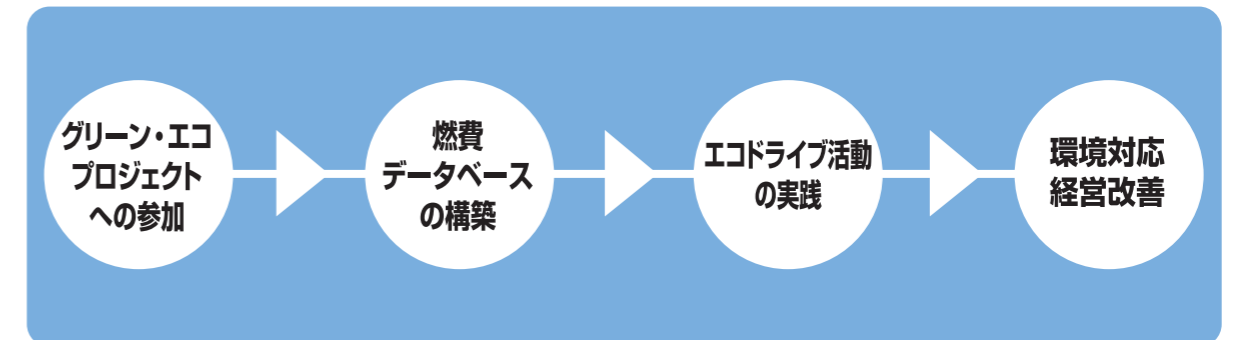
京都議定書の批准を受け、2006年度より運輸部門におけるCO₂削減の法律（エネルギーの使用の合理化に関する法律の一部改正）が施行され、一定規模以上の輸送事業者、荷主に対して省エネルギー計画の策定、エネルギー使用量の報告を義務付けること等を内容とする輸送に係わる措置が新たに整備されました。なお、対象事業者でなくても、CO₂削減等にかかる努力義務が課せられています。

トラック業界



わが国における運輸部門のCO₂排出量は全部門のうち19.8%（2005年度）を占めています。その中でも自動車部門におけるCO₂排出量は87.7%を占め、そのうち輸送機関別における営業用貨物車は17.3%を占めています。営業用貨物車は輸送の効率化、トラックの大型により1990年に比べ約4%のCO₂排出量を削減しています。更にエコドライブを実践すれば、CO₂排出量の削減が可能です。

グリーン・エコプロジェクト (GEP) での取り組み



“燃費データベース”は必須データです

企業の社会的責任 (CSR) やコンプライアンス (法令遵守) が一段と求められる社会環境となり、そうした観点からも、地球温暖化防止対策・省エネ対策を講じ、グリーン経営認証取得や改正省エネ法に対応することが、これからの運送事業経営に求められております。そのために必要とされる基礎データが“燃費データベース”です。

このデータベースは、車両1台ごとに正確かつ継続的に集計する必要があります。そこで『グリーン・エコプロジェクト』では、参加事業者の“燃費データベース”の作成を重点的にサポートしていきます。

“燃費データベース”の構築は紙1枚から

燃費の記録は1枚の「走行管理表」から始められます。「走行管理表」には、車両1台ごとに1ヵ月1枚ずつ走行距離や給油量を記録していきます。この「走行管理表」を活用して“燃費データベース”を構築します。

ここで重要なことは、無理なく継続できること、誰でも簡単に実行できることです。そのため、『グリーン・エコプロジェクト』では、高価な機器 (ハード) ではなく「走行管理表」(ソフト) の運用が活動の基本となっています。

環境対策から経営改善を

グリーン経営認証取得や改正省エネ法などの環境対策は、今後の運送事業経営のキーワードとなっております。それらを単に、やらなければならない課題として捉えるか、経営改善のキッカケとして取り組むかが重要なポイントとなります。

『グリーン・エコプロジェクト』では、環境対策を能動的に取り組み、企業の社会的責任と共生の見地から果たすことで経営改善につなげることを「環境CSR」と位置づけております。この「環境CSR」の推進が、トラック業界全体のボトムアップにつながると同時に、プロジェクトに参加する会員事業者の経営改善へつながるものと考えます。

グリーン・エコプロジェクトの実施



東京都トラック協会では、『グリーン・エコプロジェクト』に参加する会員事業者が、簡単にエコドライブ活動をスタートし、かつ無理なく継続できる支援体制として、「グリーン・エコプロジェクト事務局」を設置しています。

事務局では、「エコドライブ活動に必要なツールの提供」、「燃費データベースの作成代行業務」、「具体的かつ実践的なセミナーの開催」等、『グリーン・エコプロジェクト』に参加する会員事業者へ継続的なサポートを行います。

ポイント 1 簡単スタート!

エコドライブ活動に必要なツールを提供します。

●車両ごとに

走行管理表、エコドライブ活動ステッカー
エコドライブガイド、エコドライブファイル
燃費データ集計(結果)



●事業者単位で

グリーン・エコプロジェクト参加証
グリーン・エコプロジェクト活動ポスター
エコドライブ教育資料(解説付き)
管理者用エコドライブ実践マニュアル
燃費データ集計(結果) etc.

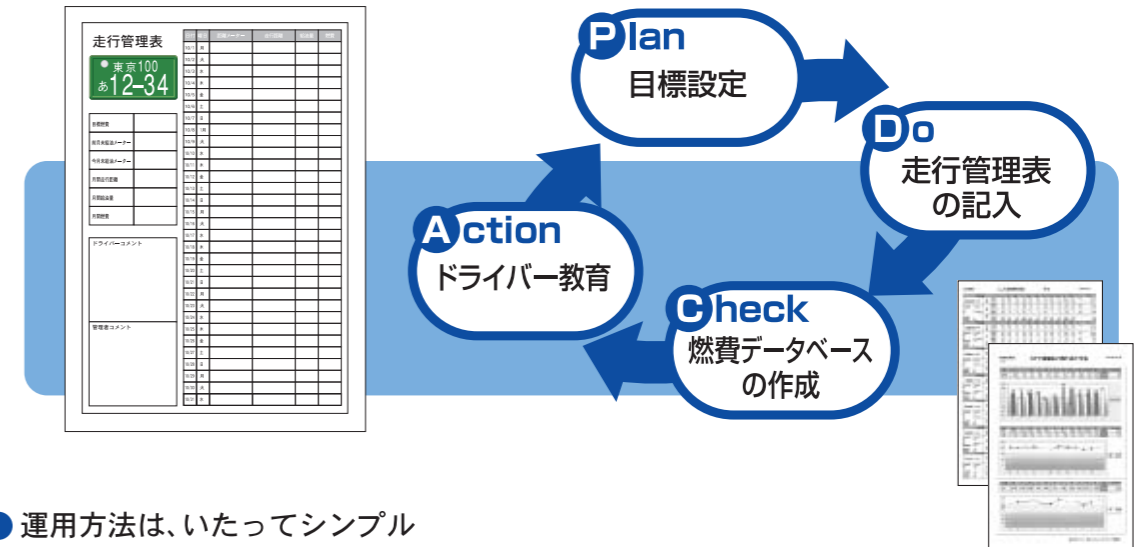


※上記写真は全て参考ツールです。

ポイント 2 無理なく実行!

一枚の紙から手軽にエコドライブ活動が始められます。

エコドライブ活動は、まず車両ごとの燃費データを正確に把握するために「走行管理表」の運用がポイントとなります。



●運用方法は、いたってシンプル

- ①ドライバーが給油時に“走行距離”と“給油量”を走行管理表に記入
- ②記入された走行管理表を『グリーン・エコプロジェクト』事務局あてに送付
- ③事務局が燃費データを集計・分析し、燃費データベースを作成
- ④データベース化した車両ごとの燃費集計データを毎月グラフ化し、参加事業者にフィードバック
- ⑤参加事業者は、最新の燃費集計データをドライバー教育に活用

ポイント 3 継続的サポート!

実践的なセミナーを通じて、継続的にサポートします。



『グリーン・エコプロジェクト』では、全7回の管理者対象セミナーを開催します。

セミナーは、燃費集計データをもとに、「エコドライブ活動の進め方」、「ドライバーの教育方法」、「ドライブレコーダーの活用」など、具体的かつ実践的な内容で実施します。

1回10人程度の少人数で開催し、事業者ごとに適したアドバイスを行ないます。

管理者セミナーの内容

- 第1回 GEPの導入
- 第2回 取り組みの実践方法
- 第3回 効果を出す方法
- 第4回 ドライブレコーダーの活用
- 第5回 実践的な内容
- 第6回 荷主との対応について
- 第7回 更なるレベルアップについて

エコドライブ活動の効果

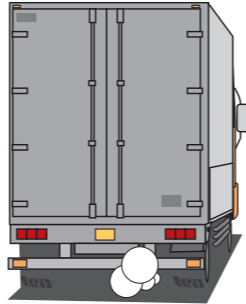


エコドライブ活動は多様な効果をもたらします。
 燃費向上による燃料コストの削減はもちろんのこと、環境にやさしい運転は交通事故の発生を抑えることができます。
 さらに積極的なエコドライブ活動の推進は、コスト意識や改善意識向上を促し、改正省エネ法の対応やグリーン経営認証制度の取得につながります。
 エコドライブ活動は単なる省燃費運転に留まらず、環境対策、コスト対策、安全対策といった経営改善に向けた効果的な経営手法です。
 『グリーン・エコプロジェクト』では、こうした継続的なエコドライブ活動が実践できる取り組み内容となっています。

参考

アイドリングストップした場合

アイドリング状態の場合、時間当たりの燃料消費量は排気量の約10%といわれています。
 大型車15,000ccの排気量の車の場合で考えると、1時間で1.5ℓの燃料を使用することになります。
 したがって、1日に1時間のアイドリングストップをした場合、10日で15ℓ、30日で45ℓ、1年で547.5ℓを削減できることとなります。

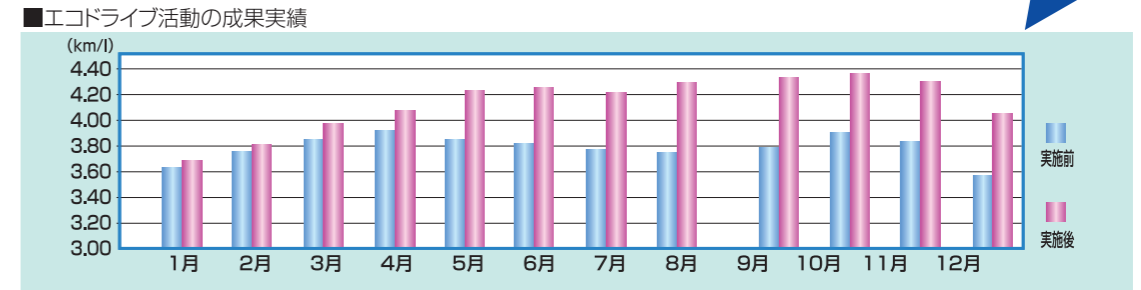


メリット 1

燃費の集計がしっかりできます。

エコドライブ活動は車両1台ごとの燃費を正確に把握することからはじまります。実走行燃費の数値を継続的に蓄積し、データ化することをお手伝いするので効果を明確に表せます。

現状把握



資料提供：株式会社アスア

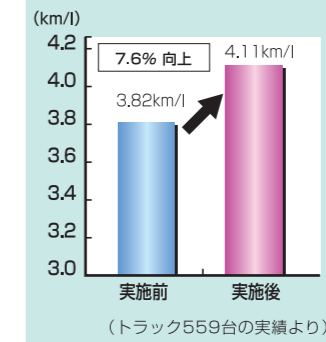
メリット 2

燃費の向上ができます。

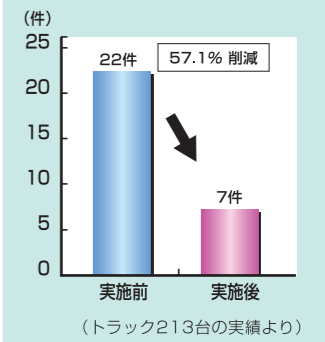
エコドライブ活動の調査(18年度GEP参加事業者31社・559台)によると実施前と実施後では、7.6%の燃費向上結果となっています。CO₂排出量削減にもつながります。(右グラフ①参照)

■燃費向上と事故低減の実績

① 平均燃費 (1リットルあたりの走行距離)



② 交通事故の件数



成果実績

メリット 3

交通事故の低減になります。

同月の(18年度GEP参加事業者11社・213台)調査ではエコドライブ活動の推進により、事故が約半減しているという結果がでております。整備業務の低減にも役立ちます。(右グラフ②参照)

メリット 4

グリーン経営認証取得につなげることができます。

燃費データに裏付けられたエコドライブ活動の継続的な実践は、グリーン経営やISO14001などの認証制度への足がかりとなります。

メリット 5

改正省エネ法における荷主への対応準備ができます。

燃費の継続的な記録を残すことでCO₂排出量の算出が可能となり、改正省エネ法への対応や荷主等に対するアピールが可能となります。

メリット 6

社内改善の一助となります。

ドライバーが燃費向上に対して積極的かつ自然体で取組めるような社内環境の改善が望めます。

実績評価



平成19年度実績

● 燃費向上効果(年間)



平成19年度の『グリーン・エコプロジェクト』データ規模は190社、3,000台で、活動実績として燃費データ数も21万件程あり、相当数の燃費データを集計した結果、多くの燃料使用量の削減が出来ました。

1台あたり704ℓ程の燃料使用量が削減が出来た事になります。ドラム缶に換算すると、10,597本の削減となります。

こうした削減結果から、燃費の向上率が9.2%という数字となって現れました。

● CO₂削減効果(年間)



『グリーン・エコプロジェクト』参加車両が1台あたりに削減できたCO₂の量は、杉の木1本あたりに換算すると約131本分に相当し、全体で394,048本程度植樹する効果があったこととなります。(杉の木は、1本当たり1年間で14kgのCO₂を吸収する:エコモ財団資料参考)

※軽油の二酸化炭素排出係数[軽油使用量×2.62kg-CO₂/ℓ]
(地球温暖化対策に関する法律に基づく命令に定める算定方法及び係数による)

「グリーン・エコプロジェクト推進活動事業」が平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰(対策活動実践部門)を受賞



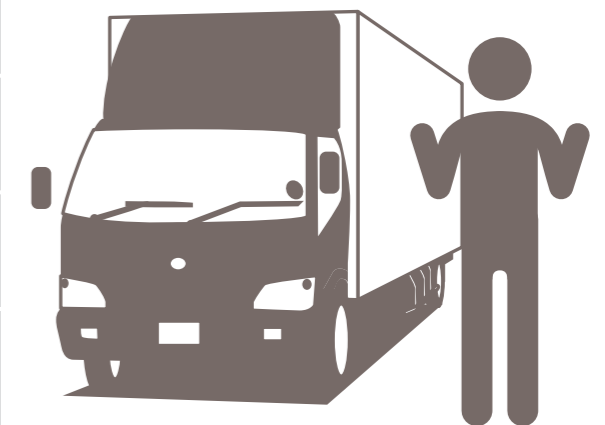
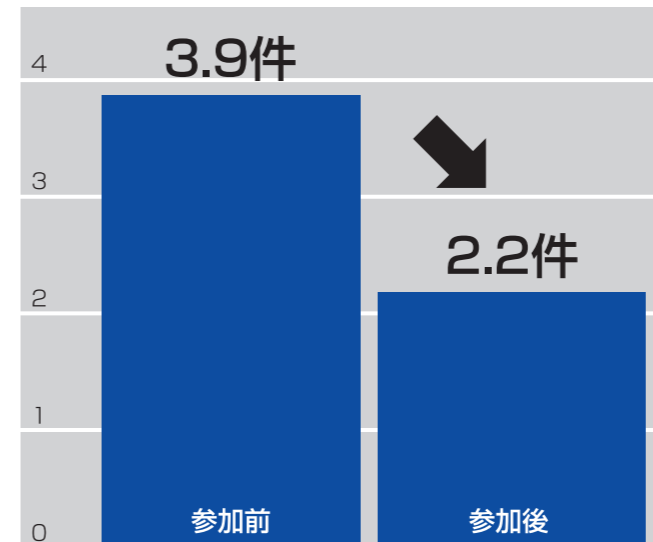
地球温暖化防止活動環境大臣表彰は、環境省が平成10年度から、地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年度、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績を称えるため、行っているものです。『グリーン・エコプロジェクト』では、独自のCO₂削減対策を盛り込んだ継続的なエコドライブ活動を推進し、CO₂排出量の削減および燃費向上に伴うコスト削減や事故防止等に向けた取り組みを実践。これらの諸活動の実績が地球温暖化防止活動として認められ、評価されました。

また、平成19年12月17日(月)に開催された表彰式では、星野東ト協会長が鴨下環境大臣より賞状を授与され、更に受賞者を代表して謝辞を述べました。

参考 事故低減効果(18・19年度累計)

『グリーン・エコプロジェクト』アンケート調査の結果、44.2%の交通事故件数が削減されている事がわかりました。

月間平均事故件数の推移(549台統計)



グリーン・エコプロジェクトの感想

参加者の声（活動担当者）

（有）金城運輸の活動担当者



『グリーン・エコプロジェクト』が弊社にもたらした最大の効果は、燃費向上や事故低減等の直接的な効果以上に、これまでの様に会社の利益に主眼をおいた乗務員教育とは違い、比較的受け入れ易い「エコ」という価値観の共有を通じ、同一の目的に向かって自主的に努力を行おうとする「目的意識」が乗務員に芽生えたことだと思います。結果的に予想もしていなかった早い時期に、「グリーン経営認証」も取得することができました。今後もやっと芽生えた乗務員の「目的意識」を「エコ」だけでなく業務全般に生かせるよう取り組みを続けていきたいと思えます。

（株）大津運送の活動担当者



当社が『グリーン・エコプロジェクト』に参加して良かった点は、エコドライブをする事でドライバーの気持ちに余裕が生まれ燃費向上、事故件数の減少に繋がった事だと思います。月末に管理表を回収する時に燃費の話題で色々な意見交換ができてドライバーの意識にも変化が現れ始めています。エコドライブ活動は、運転結果を燃費という数値で示してくれるので、ドライバーにはとても解り易いです。これからも環境への配慮と安全性・経済性を追求しながらエコドライブ活動を続けて行きたいと思えます。

トヨーエクスプレス（株）の活動担当者



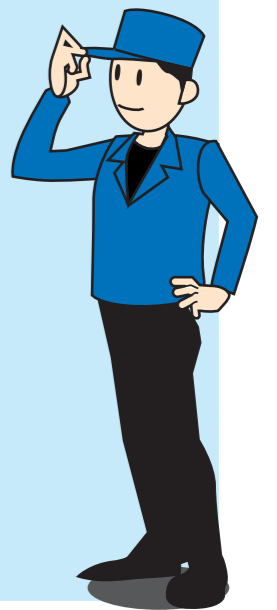
『グリーン・エコプロジェクト』に参加したきっかけは、グリーン経営認証取得後、社内独自の手法に限界を感じたことであります。セミナーに参加する事により、トップダウンで進めていた燃費数値の達成ではなく、従業員主導のボトムアップを図るための様々な手法を学ぶことが出来ました。結果としてグリーン経営の更新も是正なして認証をいただく事ができました。ドライブレコーダーを装着してエコドライブ活動を進める事も素晴らしい事と思いますが、1枚の走行管理表を基に、ドライバーとの対話で進められるところが、『グリーン・エコプロジェクト』の素晴らしい点であります。これからも『グリーン・エコプロジェクト』と共にボトムアップから環境CSRに向けた取り組みを進めて参ります。

現場の声（リーダー） ※アンケートから抽出

- プロジェクト参加後、班を作り、班活動を行うようになり職場環境が変わった。
- 班長として自分自身がエコドライブをしないといけないと強く思うようになり、班員と一緒にエコドライブを頑張っている。
- スピードを出さない運転をすることで、事故をおこさない運転になったと思うドライバーがいて、本当にそうだった。
- エコドライブ運転と点検整備をしっかりやることで、事業所の燃費が向上した。
- 初めは無関心だったドライバーが、どんどん積極的に取り組むようになった。
- エコドライブを会社で取り組むようになり、事故が少なくなった。
- グリーン・エコプロジェクト参加後、毎月エコ会議をする中で、ドライバーと話す機会が増え、いろんな話ができるようになった。
- 会社として少なからず地球環境に貢献できた事を誇りに思う。緑ナンバーであればやらなくてはならない活動である。

現場の声（ドライバー） ※アンケートから抽出

- 1つは環境のため。もう1つは会社のためと思って取り組んだが、今は仕事というよりも、環境・安全のために取り組んでいる。プライベートの車も燃費向上して満足している。
- エコをして、みんなの気持ちが一つになれた事が一番良かった。皆でやった結果燃費が上がるとうれしい。もうこれ以上は上がらないと思っていたが、まだ燃費が上がって面白かった。
- 運転方法自体に変化が出て、自分でもこれなら気持ちにゆとりがもてるので、いいなあと思っている。また気持ちがばらばらではエコ運転は出来ないということも分ってよかった。
- かなり早めのシフトアップ・アクセルOFFはしていると思う。今後も続けるようにがんばる。
- 初めは燃費計算が面倒だったが、今では勉強になったと思っている。
- エコドライブをはじめてから、無意味にスピードを出す時代ではないと感じた。
- エコドライブは地球環境にやさしい運転で、そんな会社にいることをほこりに思う。



Q&A

Q セミナーの受講対象者は決まっていますか？

A 受講対象の制限は特に設けてありません。ただし、本セミナーはエコドライブ活動の成功に向け、現場の指導に当たる管理者教育に主眼をおいたカリキュラムで構成されていますので、できる限り、日々現場で従事されている管理者の参加が、望ましいと考えています。

Q 1回のセミナーに何人まで参加できるのですか？

A 1回のセミナーで、参加事業者ごとの人数制限は特に設けていません。ただし、本セミナーでは、すべての参加事業者をきめ細かく支援することを目的として、1回のセミナー参加枠を10人程度の少人数に抑えて実施します。参加人数によっては、ご希望にそえない場合も考えられますので、あらかじめご了承ください。

Q 業務の都合上、途中で担当者が変わってしまいました。全7回すべて同じ担当者がセミナーを受けなければならないのですか？

A 本セミナーでは、『グリーン・エコプロジェクト』の趣旨・目的を理解したうえでセミナーを受講され、ドライバーに伝えていただくことが効果的であると考えています。したがって、途中で変わられた方が本セミナーに初めて参加される場合は原則「第1回セミナー」から受講していただきます。

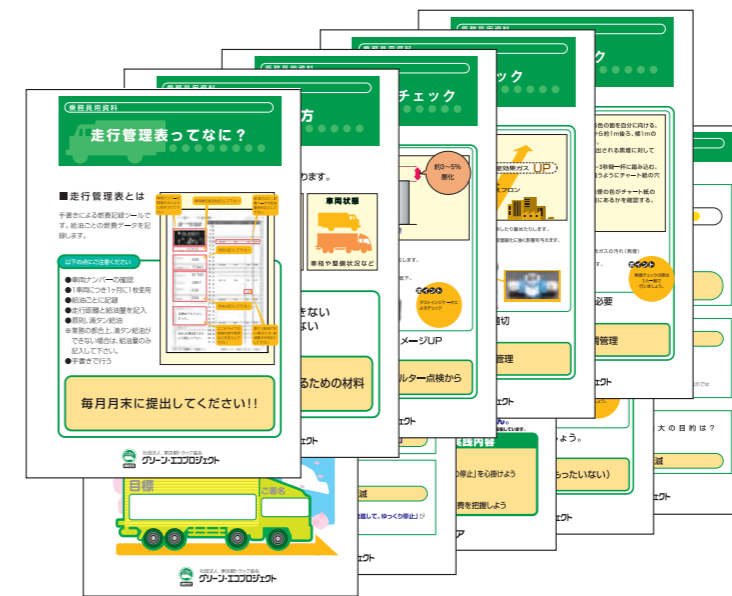
Q 燃費データは自社ですでにあるので、セミナーだけ受講することは出来ないのですか？

A 『グリーン・エコプロジェクト』では、トラック協会として統一した燃費データベースを構築することを目的としておりますので、走行管理表の提出をいただいております。そこから、作成した燃費データの活用を行い経営改善方法をお伝えする場が本セミナーです。したがってセミナーのみの受講は受付けておりません。

グリーン・エコプロジェクトの活動紹介

■セミナー風景

活動をしていく上で大切な事をしっかりと伝えられる少数セミナーをミーティング形式で実施しています。



■教育資料

エコドライブ活動の取組みポイントを明確にする豊富な教育資料を作成し、提供しています。

■掲載記事 グリーン・エコプロジェクトの取組み効果は専門紙でも紹介されています。



セミナーの紹介記事

平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰 (対策活動実践部門) を受賞

